



令和4年度  
県民世論調査

1. 県の基本政策について
2. 新型コロナウイルス感染症対策について
3. 南海トラフ地震対策について
4. 消防団員について
5. 県民の健康づくりについて
6. オンライン診療について
7. ヤングケアラーについて
8. 有機農業について
9. 森林環境税について
10. 地球温暖化対策について
11. LCC (Low Cost Carrier) 路線の利用促進について

高 知 県



# はじめに

高知県は、全国に先行した人口の自然減や災害の多発といった数多くの課題に直面しています。さらに、新型コロナウイルス感染症や、ウクライナ情勢に起因する原油高・物価高騰などの世界的な課題の影響も及んでいます。

こうした困難な課題に県民の皆さまと共に立ち向かっていくため、基本政策である産業振興計画の推進による「経済の活性化」、「日本一の健康長寿県づくり」、「教育の充実と子育て支援」、「南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化」、「インフラの充実と有効活用」の5つの取組を進めるとともに、それらに横断的に関わる政策として「中山間対策の充実・強化」、「少子化対策の充実・強化と女性の活躍の場の拡大」、「文化芸術とスポーツの振興」に向けた取組を、コロナ禍後の社会構造の変化を見据え強化を図りながら進めてまいります。

こうした取組を進めるに当たり、県民の皆さまのニーズを的確に把握、分析し、政策づくりに生かすことが大変重要であることから、本調査を毎年実施しているところです。

本年度は、「県の基本政策」、「新型コロナウイルス感染症対策」、「南海トラフ地震対策」、「消防団員」、「県民の健康づくり」、「オンライン診療」、「ヤングケアラー」、「有機農業」、「森林環境税」、「地球温暖化対策」、「LCC路線の利用促進」の11のテーマについて、調査を行いました。

これらの調査に集約された県民の皆さまの声を、今後の県政に十分反映させていきたいと考えています。また、各方面でも幅広く活用されることを願っています。

この調査にご協力いただきました県民の皆さまをはじめ、関係者の皆さまに厚くお礼申し上げます。

令和4年12月

高知県総務部長 徳重 覚



# 目次

<b>第1章 調査の設計</b> .....	<b>1</b>
1. 調査の目的.....	1
2. 調査の事項.....	1
3. 調査の対象.....	1
4. 対象者の抽出方法.....	1
5. 調査の方法.....	1
6. 調査の期間.....	1
7. 実査および集計.....	1
8. 調査票配布数と回収状況.....	1
<b>第2章 調査結果の見方</b> .....	<b>3</b>
<b>第3章 調査対象者の特性</b> .....	<b>5</b>
1. 住まいの場所(広域市町村圏)別の配布・回収状況.....	5
2. 対象者の特性.....	5
<b>第4章 調査結果〔解説・グラフ〕</b> .....	<b>11</b>
1. 県の基本政策について.....	11
2. 新型コロナ感染症対策について.....	41
3. 南海トラフ地震対策について.....	47
4. 消防団員について.....	75
5. 県民の健康づくりについて.....	88
6. オンライン診療について.....	109
7. ヤングケアラーについて.....	120
8. 有機農業について.....	139
9. 森林環境税について.....	150
10. 地球温暖化対策について.....	164
11. LCC(Low Cost Carrier)路線の利用促進について.....	188
<b>第5章 調査結果〔数表〕</b> .....	<b>209</b>
<b>第6章 単純集計結果</b> .....	<b>303</b>



## <第1章 調査の設計>





---

---

# 第1章 調査の設計

## 1. 調査の目的

この調査は、県民のニーズ・意識などを把握し、県政運営上の基礎資料を得ることを目的とする。

## 2. 調査の事項

- (1) 県の基本政策について
- (2) 新型コロナウイルス感染症対策について
- (3) 南海トラフ地震対策について
- (4) 消防団員について
- (5) 県民の健康づくりについて
- (6) オンライン診療について
- (7) ヤングケアラーについて
- (8) 有機農業について
- (9) 森林環境税について
- (10) 地球温暖化対策について
- (11) LCC(Low Cost Carrier)路線の利用促進について

## 3. 調査の対象

県内全域から18歳以上の県民3,000人を抽出(各市町村の「選挙人名簿」より)

## 4. 対象者の抽出方法

層化二段無作為抽出法

## 5. 調査の方法

郵送回答、インターネット回答の併用

## 6. 調査の期間

令和4年8月19日(金)～9月13日(火)までの26日間

## 7. 実査および集計

株式会社トミーコーポレーション

## 8. 調査票配布数と回収状況

配布数：3,000票

有効回収数：1,671票(有効回収率55.7%)

(内インターネット回答者数：330票)



## <第2章 調査結果の見方>



## 第2章 調査結果の見方

1. 「第4章 調査結果 [解説・グラフ]」は「第5章 調査結果 [数表]」に基づき、要点のみを記述しているため、「第5章 調査結果 [数表]」をあわせて参照すること。
2. 「第5章 調査結果 [数表]」の「サンプル」は有効調査人数を示し、比率(%)算出の基礎となっている。
3. 「第5章 調査結果 [数表]」に記入してある数値は、回答人数又は各回答項目に対する回答率であり、回答率は下記の式により求めている。

$$\text{回答率(\%)} = \frac{\text{回答人数}}{\text{サンプル(有効調査人数)}} \times 100$$

なお、回答率は、小数第2位を四捨五入し、表示している。

4. 質問への回答方法は「1つだけ○印(最も当てはまるもの1つに○印)」、「2つまで○印」、「3つまで○印」、「当てはまるものすべてに○印(最も当てはまるものすべてに○印)」などの方法を採用している。したがって、複数回答の質問は比率を合計すると100%以上になる。
5. 副問については、該当者の人数を母数として回答率を算出した。
6. 各質問に対する集計は、対象者の特性別(階層別)及び回答者別(質問間クロス)で分析した。
  - F1 性別 … 男性、女性、その他の3種類に分類
  - F2 年代別 … 10歳代、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上の7階層に分類
  - F3 職業別 … 農林業、漁業、商工サービス業自営、事務職、技術職、労務職、管理職、自由業、主婦・主夫、学生、無職、その他の12種類に分類
  - F4 属性別 … 世帯主、世帯主ではない(世帯員)の2種類に分類
  - F5 婚姻状況別 … 未婚、既婚、その他(離別、死別を含む)の3種類に分類
  - F6 子どもの状況別 … 就学前の子どもがいる、小・中学生の子どもがいる、高校生の子がいる、大学生・専門学校生等の子どもがいる、子どもは成人している(「3~4」を除く)、その他、子どもはいないの7種類に分類
  - F7 世帯年収別 … 0~100万円未満、100~200万円未満、200~300万円未満、300~400万円未満、400~600万円未満、600~800万円未満、800~1,000万円未満、1,000万円以上の8種類に分類
  - F8 住まいの状況別 … 持家、借家の2種類に分類
  - F9 住まいの場所別 … 高知市、安芸広域圏、南国・香美広域圏、嶺北広域圏、仁淀川広域圏、高吾北広域圏、高幡広域圏、幡多広域圏の1市7広域圏に分類
  - F10 住まいの地域別 … 沿岸部、非沿岸部の2種類に分類

※対象者の職業別、広域市町村圏別及び住まいの地域別判定は次のとおりである。

◆職業別

農 林 業	}	(主婦・主夫の場合は、家庭内の仕事と田畑、漁業に出る時間と比較して多い方を選択)
漁 業		
商工サービス業自営		(商店や工場などを自分でやっている人、家族従業者を含む)
事 務 職		(勤め人や公務員で主に事務系の仕事の人、課長以上を除く)
技 術 職		(主に技術系の仕事の人、看護師、保育士、教員など、課長以上を除く)
労 務 職		(現場従業者、工員、運転手、店員、日雇い、大工など)
管 理 職		(勤め人・公務員で課長以上の場合、校長・教頭など)
自 由 業		(医師、弁護士、画家、僧侶など)
主 婦 ・ 主 夫		(家庭内の仕事が一日で最も多い場合)
学 生		(高校、短大、大学、その他の学校在学中)
無 職		(年金などで生活しているか、自分の収入がなく、または働いていない場合)
そ の 他		(上のいずれにも属さないもの)

◆住まいの場所別 (広域市町村圏別)

高 知 市	
安 芸 広 域 圏	室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、芸西村
南 国 ・ 香 美 広 域 圏	南国市、香南市、香美市
嶺 北 広 域 圏	本山町、大豊町、土佐町、大川村
仁 淀 川 広 域 圏	土佐市、いの町、日高村
高 吾 北 広 域 圏	佐川町、越知町、仁淀川町
高 幡 広 域 圏	須崎市、中土佐町、梶原町、津野町、四万十町
幡 多 広 域 圏	宿毛市、土佐清水市、四万十市、大月町、三原村、黒潮町

## <第3章 調査対象者の特性>





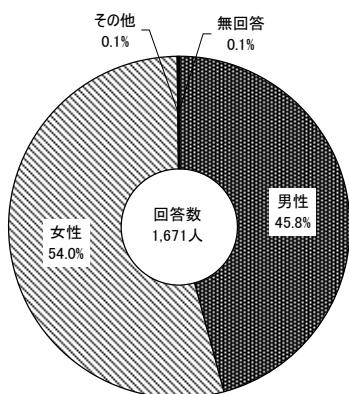
## 第3章 調査対象者の特性

### 1. 住まいの場所(広域市町村圏)別の配布・回収状況

住まいの場所 (広域市町村圏)	配布数(人)	有効回収状況		
		回答数(人)	回収率(%)	構成比(%)
高知市	1,380	798	57.8	47.8
安芸広域圏	201	103	51.2	6.2
南国・香美広域圏	449	237	52.8	14.2
嶺北広域圏	48	34	70.8	2.0
仁淀川広域圏	233	133	57.1	8.0
高吾北広域圏	101	54	53.5	3.2
高幡広域圏	227	112	49.3	6.7
幡多広域圏	361	191	52.9	11.4
無回答		9		0.5
計	3,000	1,671	55.7	100.0

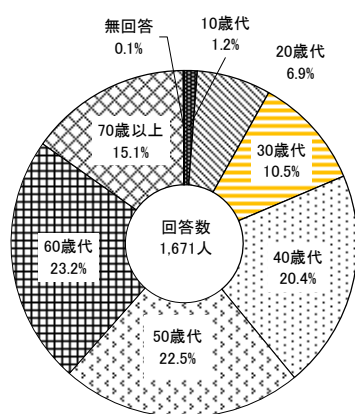
### 2. 対象者の特性

#### F 1 性別



区分	回答数(人)	構成比(%)
男性	765	45.8
女性	903	54.0
その他	1	0.1
無回答	2	0.1
計	1,671	100.0

#### F 2 年代別



区分	回答数(人)	構成比(%)
10歳代	20	1.2
20歳代	116	6.9
30歳代	176	10.5
40歳代	341	20.4
50歳代	376	22.5
60歳代	388	23.2
70歳以上	252	15.1
無回答	2	0.1
計	1,671	100.0

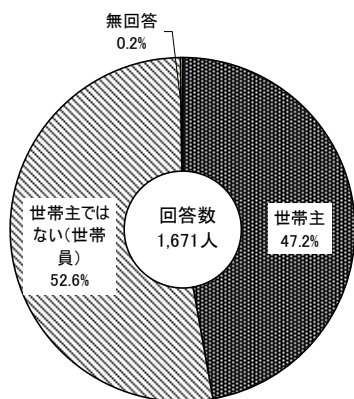
### F 3 職業別

		回答数
全体	100.0	1,671 人
農林業	6.2	103 人
漁業	0.5	9 人
商工サービス業自営	5.2	87 人
事務職	14.2	238 人
技術職	15.0	251 人
労務職	12.7	212 人
管理職	5.2	87 人
自由業	1.8	30 人
主婦・主夫	10.2	171 人
学生	2.6	43 人
無職	16.2	271 人
その他	9.6	161 人
無回答	0.5	8 人

グラフ単位(%)

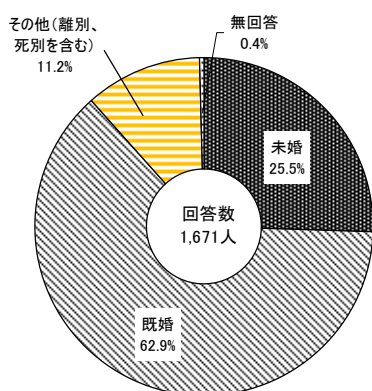
区分	回答数(人)	構成比(%)
農林業	103	6.2
漁業	9	0.5
商工サービス業自営	87	5.2
事務職	238	14.2
技術職	251	15.0
労務職	212	12.7
管理職	87	5.2
自由業	30	1.8
主婦・主夫	171	10.2
学生	43	2.6
無職	271	16.2
その他	161	9.6
無回答	8	0.5
計	1,671	100.0

#### F 4 世帯主・世帯員別



区分	回答数(人)	構成比(%)
世帯主	788	47.2
世帯主ではない	879	52.6
無回答	4	0.2
計	1,671	100.0

#### F 5 婚姻状況別



区分	回答数(人)	構成比(%)
未婚	426	25.5
既婚	1,051	62.9
その他	187	11.2
無回答	7	0.4
計	1,671	100.0

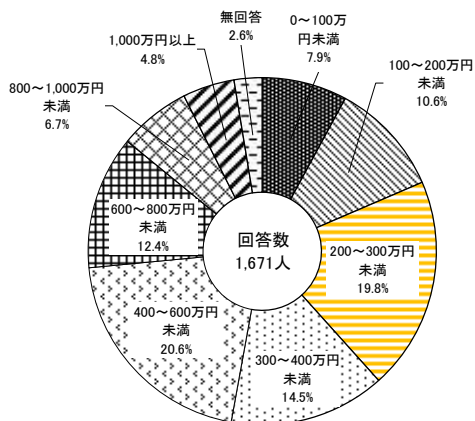
## F 6 子どもの状況別

		回答数
全体	100.0	1,671 人
就学前の子どもがいる	5.6	93 人
小・中学生の子どもがいる	9.8	163 人
高校生の子どもがいる	4.4	73 人
大学生、専門学校生等の子どもがいる	5.0	84 人
子どもは成人している(「3～4」を除く)	41.4	691 人
その他	1.9	31 人
子どもはいない	31.4	525 人
無回答	0.7	11 人

グラフ単位(%)

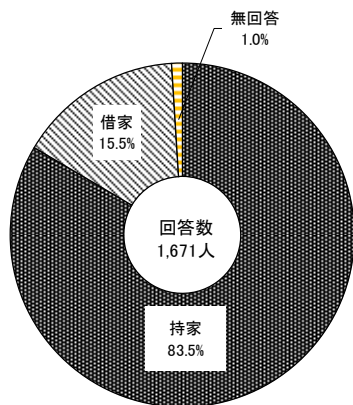
区 分	回答数(人)	構成比(%)
就学前の子どもがいる	93	5.6
小・中学生の子どもがいる	163	9.8
高校生の子どもがいる	73	4.4
大学生、専門学校生等の子どもがいる	84	5.0
子どもは成人している(「3～4」を除く)	691	41.4
その他	31	1.9
子どもはいない	525	31.4
無回答	11	0.7
計	1,671	100.0

## F 7 世帯年収別



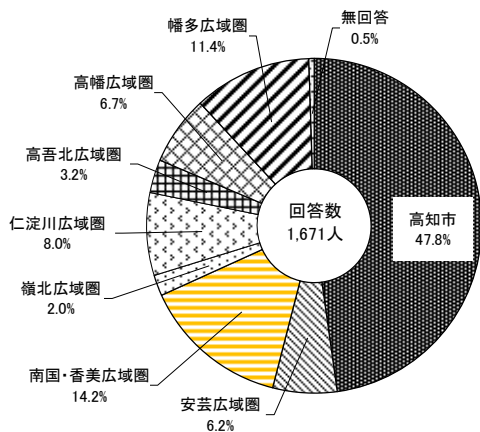
区分	回答数(人)	構成比(%)
0~100万円未満	132	7.9
100~200万円未満	177	10.6
200~300万円未満	331	19.8
300~400万円未満	242	14.5
400~600万円未満	344	20.6
600~800万円未満	208	12.4
800~1,000万円未満	112	6.7
1,000万円以上	81	4.8
無回答	44	2.6
計	1,671	100.0

## F 8 住まいの状況別



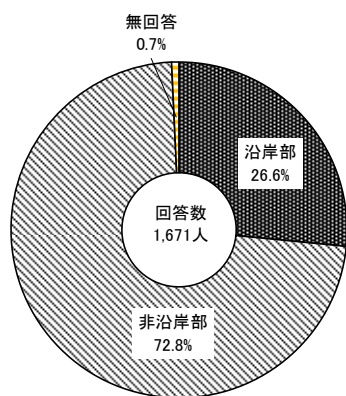
区分	回答数(人)	構成比(%)
持家	1,395	83.5
借家	259	15.5
無回答	17	1.0
計	1,671	100.0

## F 9 住まいの場所別



区分	回答数(人)	構成比(%)
高知市	798	47.8
安芸広域圏	103	6.2
南国・香美広域圏	237	14.2
嶺北広域圏	34	2.0
仁淀川広域圏	133	8.0
高吾北広域圏	54	3.2
高幡広域圏	112	6.7
幡多広域圏	191	11.4
無回答	9	0.5
計	1,671	100.0

F10 住まいの地域別



区分	回答数(人)	構成比(%)
沿岸部	444	26.6
非沿岸部	1,216	72.8
無回答	11	0.7
計	1,671	100.0